

第51回交通政策審議会観光分科会 (一社)日本旅客船協会提出資料

2025年7月25日
一般社団法人日本旅客船協会
理事長 野澤和行

旅客船業界の現状

○国内旅客船は、住民等の移動手段として、また、生活物資や車両等の輸送手段として、日々の暮らしと社会・経済を支える重要な使命と役割を担っています。

旅客船事業の維持・確保

○離島住民の生活の足の確保



地域の観光振興

○海事観光の推進等を通じた旅客船事業の活性化



モーダルシフトの推進

○「物流2024年問題」への対応



リダンダンシーの確保

○災害時の緊急輸送



(一社)日本旅客船協会の概要 正会員492者、賛助会員21者(2025.3.31現在) ⇒ 旅客航路事業者総数の約6割弱をカバー

現状・課題

- ・国内旅客船業界におけるインバウンド効果は、特定の観光船や一部の離島航路など限定的。
- ・国内旅客船の多くがインバウンド増加以前に建造されており、インバウンド旅客にとって快適・魅力的な観光体験となっていない。離島など地方への誘客には、より多くの国内旅客船事業者が、移動を楽しむ観光客ニーズに対応したサービスを提供することが必要。

日本旅客船協会の取組

「クルーズジャパン」の提供



https://www.jships.or.jp/cruise_japan/

(メディア)

- ・マツコの知らない世界「国内フェリーの世界」(2025.2.4)
- ・NIKKEIプラス1「離島にいざなう小さな船旅」(2025.6.28)

御船印めぐりプロジェクト



<https://gosen-in.jp/>

次期観光立国推進基本計画に向けて

- ・観光客のニーズに対応した国内旅客船の建造・整備に対する支援をお願いいたします。

離島～本土間で、絶景テラス、足湯、シースルーデッキなどを提供する旅客船



内航旅客船の船齢

全2,102隻

(2024.4.1時点)

